

## 株主の皆さまへ

平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。2015年度第1四半期(2015年4月～6月)のブラザーグループの連結業績は、通信・プリンティング機器が消耗品を中心に堅調に推移したことや、IT関連顧客向けの産業機器が好調であったことに加え、主に米ドルに対する為替のプラス影響もあり、売上高は前年同期比で増収となりました。営業利益は、産業機器が好調であったものの、英国のドミノ プリンティングサイエンス社(以下、ドミノ社)の株式取得等に係る費用の計上や主にユーロに対する為替のマイナス影響などにより減益となりました。経常利益は為替予約に係る損益が改善したことなどにより増益となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年に計上した賃貸用不動産の売却に伴う特別利益がなくなったことなどにより、大幅減益となりました。2015年度通期の業績予想につきましては、為替の想定レートを見直したほか、ドミノ社を連結化したことにより、売上高は、年間で前回予想を700億円上回る、8,300億円となる見通しです。営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益については、前回予想から変更はありません。

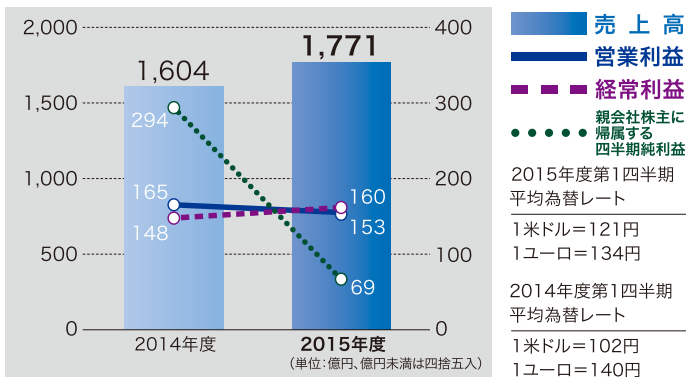
今後とも、何卒ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

小池利和



## 2015年度 第1四半期の業績概況



便 益 が 多 郵

## 2015年度 通期の業績予想について

(単位:億円、億円未満は四捨五入)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
2015年度予想 '15 8/3発表 (対前年増減率)	8,300 (+17.4%)	580 (+0.8%)	560 (+8.6%)	355 (-34.2%)
2015年度予想 '15 5/7発表	7,600	580	560	355
2014年度実績	7,072	575	516	540

### 売上高

為替想定レートを円安方向に見直したほか、ドミノ社を連結子会社化したことで、前回予想を上回る見込み

### 利益

ドミノ社株式取得費用やのれん償却費等が加わるものの、ドミノ社連結の効果や為替レートの見直しなどがあり、各利益とも前回予想のまま変更なし

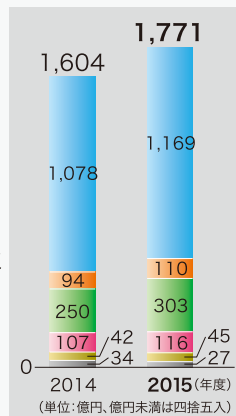
### 予想部分の 為替レート

1米ドル=115円から120円に、1ユーロ=125円から135円に変更

この株主通信に記載されている事項には、将来についての予想に関する記述が含まれています。実際の業績はこれらの見通しと異なる結果がありうることをご承知おきください。

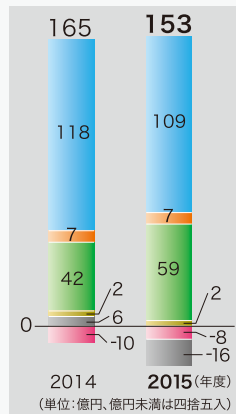
## 売上高 事業セグメント別

- P&S事業(プリンター、複合機、電子文具など)**  
消耗品の堅調な推移と米ドルに対する為替のプラス影響により増収
- P&H事業(家庭用ミシンなど)**  
米州・アジア地域が好調だったことと為替影響により増収
- M&S事業(工業用ミシン、産業機器など)**  
IT関連顧客向け産業機器の好調により大幅増収
- N&C事業(通信カラオケ、コンテンツサービスなど)**  
カラオケ店舗の堅調な推移とM&Aの効果により増収
- 工業用部品事業(減速機、歯車)**  
各地域とも需要が堅調だったことにより増収



## 営業利益 事業セグメント別

- P&S事業(プリンター、複合機、電子文具など)**  
ユーロに対する為替のマイナス影響および費用の増加などにより減益
- P&H事業(家庭用ミシンなど)**  
増収となったものの、費用増加により減益
- M&S事業(工業用ミシン、産業機器など)**  
主に産業機器の増収に伴い大幅な増益
- N&C事業(通信カラオケ、コンテンツサービスなど)**  
営業損失だが、費用の減少により損益改善
- 工業用部品事業(減速機、歯車)**  
増収に伴い増益



- プリンティング・アンド・ソリューションズ(P&S)事業
- ネットワーク・アンド・コンテンツ(N&C)事業
- パーソナル・アンド・ホーム(P&H)事業
- 工業用部品事業
- マシナリー・アンド・ソリューション(M&S)事業
- その他事業など

## 株主通信

第124期 第1四半期のお知らせ

## ブラザー工業株式会社

(証券コード:6448)



※本通信は2015年3月末時点での株主の皆さまにお送りしておりますことをご了承ください。

【株主名簿管理人】三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号  
電話/0120-232-711 (通話料無料)

ここからゆっくりはがしてご覧ください。  
万一ぬれた場合は十分に乾かしてからはがしてください。

## 第123回定時株主総会を開催

2015年6月23日(火)に「第123回定時株主総会」を名古屋東急ホテル(愛知県名古屋市)にて開催し、過去最多の687名の株主の皆さまにご出席いただきました。

総会では、2014年度のブラザーグループの業績や中期戦略「CS B2015」達成に向けた取り組み、ドミノ プリンティングサイエンス社の友好的買収などについてご説明しました。質疑応答の後、議案はいずれも原案通り承認可決されました。総会終了後には、株主の皆さまに当社経営陣と直接対話いただく「株主懇談会」を開催。会場内に展示ブースを設け、多くの株主の皆さまに各ブースで製品の展示を見たり、デモを体験しながら、当グループの役員や従業員と交流を深めていただきました。



株主の方からの質問に対し、丁寧にお答えする社長の小池

## ■総会決議の概要

## 第1号議案 定款一部変更の件

原案どおり承認可決されました。

## 第2号議案 取締役11名選任の件

原案どおり取締役役に小池利和、石川茂樹、長谷川友之、神谷純、佐々木一郎、石黒雅、平野幸久、西條温、服部重彦、深谷紘一、松野聰一の11氏が再選され、就任いたしました。

詳細は以下のWebページをご覧ください。

<http://www.brother.co.jp/pub/investor/meeting/pdf/2015/ketsugi.pdf>

## ドミノ プリンティング サイエンス社を完全子会社化

ブラザー工業は、産業用プリンティング事業を手掛けるドミノプリンティングサイエンス社(以下、ドミノ社)を友好的に買収し、完全子会社化しました。ドミノ社は、1978年に設立された英国に本社を置く企業で、主力事業として、コーディング・マーキング<sup>\*1</sup>事業や今後の成長が期待できるデジタル印刷<sup>\*2</sup>事業があります。両事業とも、安定的な稼働台数の拡大が期待でき、消耗品の大量使用と高い純正率による高収益が見込まれます。今後は、ドミノ社とブラザーグループの製品や技術に加え、販売・サービスネットワーク、研究開発機能、製造・調達ネットワークといったグローバルな事業基盤の活用により、相乗効果を創出してまいります。

コーディング・  
マーキング機器

印字例

## デジタル印刷機



ラベル印刷例

※1 コーディング・マーキング:さまざまな印字技術を用いて、ペットボトル、缶、食品や医薬品の包装などに賞味期限、ロット番号などを印字

※2 デジタル印刷:インクジェット技術を用い、多種少量の商品パッケージ用のラベルなどを印刷